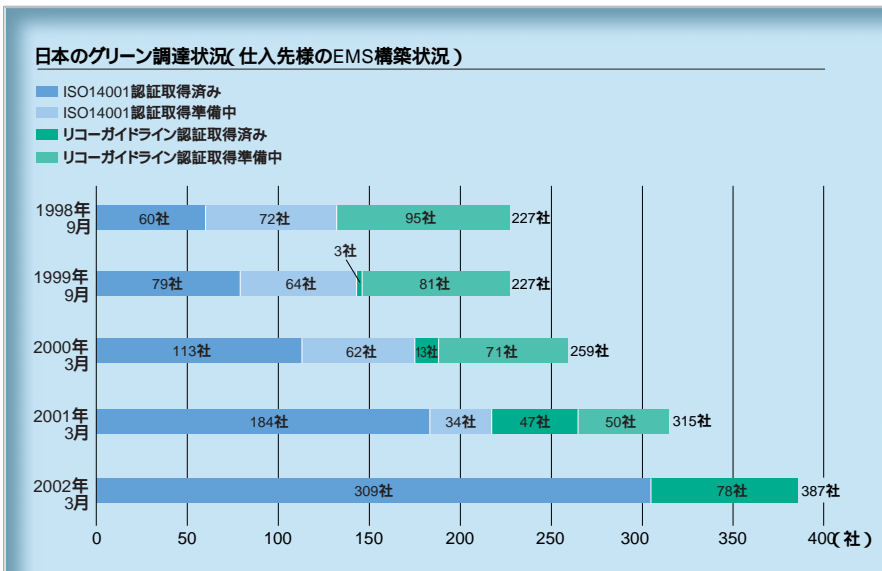
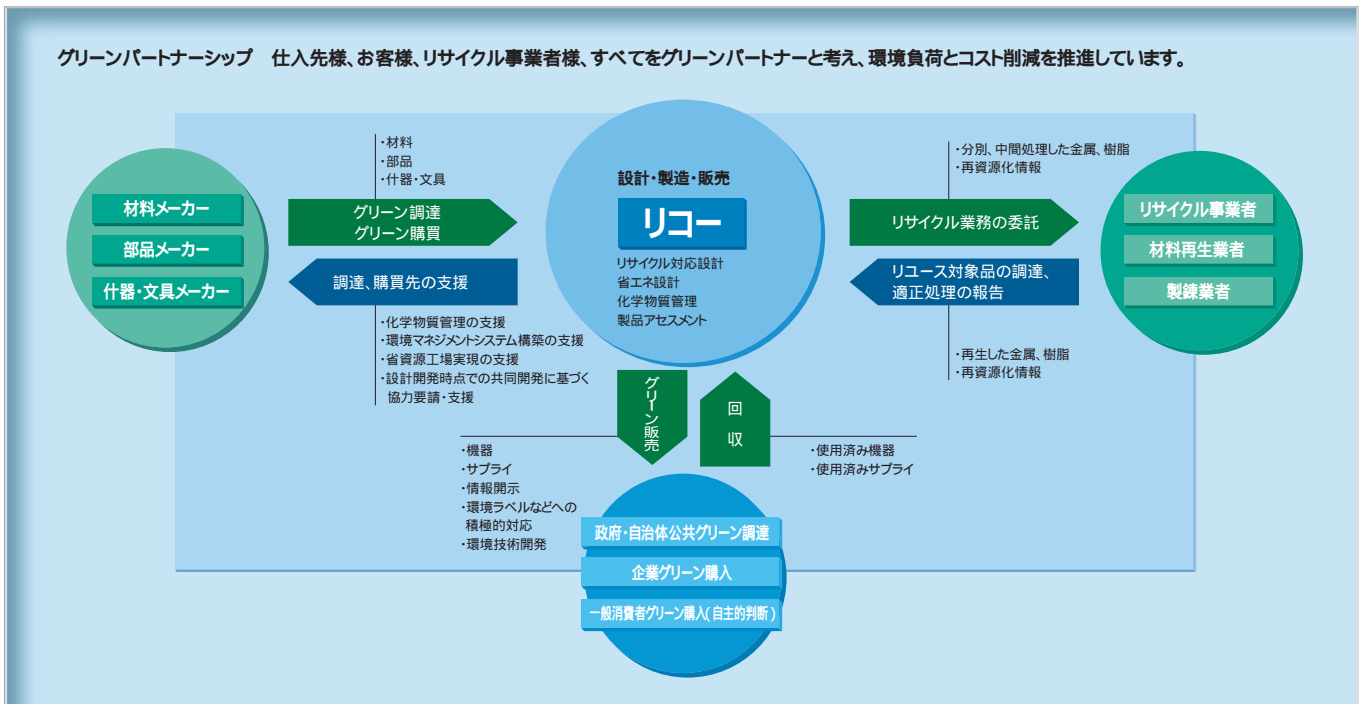


グリーン調達を推進するために、仕入先様の体質強化もサポートしています。

環境経営の実践には、複写機やプリンターなどの製造の上流工程にあたる仕入先様とのパートナーシップが欠かせません。また、仕入先様へのサポートも、企

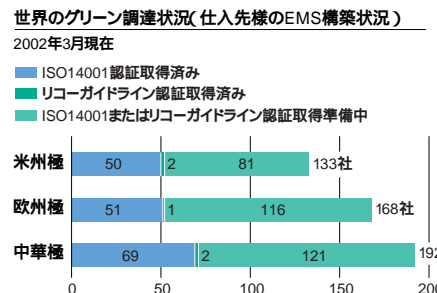
業の社会的責任として重要であるとリコーグループは認識しています。日本および米州、欧州、中華の各極で生産を行っているリコーグループは、従来から仕入先様に対して、業務改善、品質改善のためのサポートを行ってきました。さらに、世界規模でのグリーン調達を展開するにあたって、仕入先様にEMS(環境マネジ

メントシステム)の構築を呼びかけるとともに、環境という視点でのサポートをプラスしました。環境の視点で事業を見直すことは、環境負荷の削減だけでなく、職場改善やコストダウンなどにもつながるため、リコーグループだけでなく、仕入先様の経営体質強化を図り、環境経営を実現するために重要です。



リコーグループのグリーン購入の定義

- ・グリーン調達
(材料・部品のグリーン購入)
- ・グリーン購買
(什器・文具類のグリーン購入)
- ・グリーン販売
(お客様にとってのグリーン購入)



日本 極

グリーン調達大会

日本では2001年度中に、すべての仕入先様においてISO14001またはリコーグループのガイドラインに基づくEMSの構築が完了しました。2002年1月には、「第1回リコーグリーン調達大会」を開催し、「開発・設計からリサイクルに至るすべてのプロセスでの環境負荷低減活動」への一層のご協力をお願いしました。主要仕入先様260社のトップおよび実務担当の方々約300名が参加され、仕入先様3社からは、環境負荷低減に成功した技術開発報告が行われました。



東京・大森本館ホールで開催された「第1回リコーグリーン調達大会」

事務用品や備品のグリーン購入

リコーでは、社内で使用するOA機器、備品、文具、販促品、贈答品などに関する「グリーン購入品リスト」を作成すると共に、自動発注システムを構築し、効率的なグリーン購入を推進しています。現在このシステムは、リコーの非生産系8事業所および生産系7事業所に展開されており、リコーの購入金額全体の約80%の事務用品がグリーン商品となっています。また、リコーユニテクノでは、事務用品の「グリーン商品コーナー」を設置。仕入先様とオンラインで結ばれ、在庫が少なくなると自動的に供給されるだけでなく、紙の発注伝票も不要になっています。

中華 極

グリーン調達の開始

リコーグループでは2001年8月、中国でのグリーン調達説明会を実施し、生産拠点である深圳(シンゼン)のRAI(Ricoh Asia Industry)および上海のSRF(Shanghai Ricoh Facsimile)の仕入先様に対して、2003年度中までのEMS構築を呼びかけるとともに、そのためのサポートを開始しました。SRFの仕入先様である揚洲保徳工業や、ゴム技工業のご担当者は、「環境保全は必然的趨勢であり、リコーグループからEMS構築の援助を受けられることは、私たちにとって得難い契機である」と述べています。



RAIでのグリーン調達説明会



SRFでのグリーン調達説明会

華業様、RAI

中国広東省東莞(トンガン)市にある華業(ファイエ)様は社員数約250名、リコー製品の輸送・保管に欠かせない搬送用木製パレットを生産しています。RAIと華業様とのパートナーシップは、グリーン調達の開始以前に始まっていました。2000年4月、RAIからの環境負荷削減とコストダウンの

依頼に対して、華業様は再生合板によるパレットの開発というソリューションを提案してくれました。現在、華業様には、環境保全を重視する他の企業からも再生材を使ったパレットに対する新たな注文が入り、再生合板や再生素材を使ったパレットの生産量は月産1万台、総生産量の60%に達しています。環境保全にいち早く積極的に取り組んだことが、華業様の経営体質の強化につながったのです。

現在、深圳の産業界でも、ビジネスを行うために、ISO14001認証取得の必要性が一層高まっています。華業様は、2002年3月、リコーグループのグリーン調達ガイドラインだけでなく、ISO14001の認証も取得しています。



華業様とRAIのグリーン調達スタッフ

台湾リコー

仕入先様に対してグリーン調達のアナウンスを行い、ご要望に応じて数社に対するサポートを実施しました。台湾でも、環境保全への意識が高まりつつあります。2002年3月、主要仕入先様76社のうち、21社がISO14001を取得しています。